

「いのちの食事」

ヨハネ6:48～58

●序

今日、私たちは聖餐に預かろうとしています。この聖餐は主イエスキリストが命じ、教会が2000年間守ってきた大切な儀式であります。

今日初めて聖餐式に出られるという方には、意味のよく分からない儀式だと思えてしまうかもしれません。しかし、教会で行われる聖餐式には確かな意味があります。

今日は聖書を通して聖餐の意味を確かめていきたいと思っています
今日、みなさんに申し上げたいことは次の2つのことでもあります

①食べることで 失う命がある
②食べることで 得る命がある

①食べる事で失う命がある
②食べる事で得る命がある

それではまず、聖書を開き読んでまいりましょう。

●聖書朗読 ヨハネ 6:48～58

6:48 わたしはいのちのパンです。

6:49 あなたがたの先祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。

6:50 しかし、これは天から下って来たパンで、
それを食べると死ぬことはありません。

6:51 わたしは、天から下って来た生けるパンです。

だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きます。

そして、わたしが与えるパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」

6:52 それで、ユダヤ人たちは、「この人は、どうやって自分の肉を、
私たちに与えて食べさせることができるのか」と互いに激しい議論を始めた。

6:53 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。
人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、
あなたがたのうちに、いのちはありません。

- 6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。
わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。
- 6:55 わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物なのです。
- 6:56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、
わたしもその人のうちにとどまります。
- 6:57 生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、
わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。
- 6:58 これは天から下って来たパンです。先祖が食べて、なお死んだような
ものではありません。このパンを食べる者は永遠に生きます。」

①食べる事で失う命がある

みなさんは食べる事で失敗したという経験があるでしょうか？

①食べることで
失う命がある

たとえば、食べ過ぎて失敗したという事が実際起きたりするものです
食べ過ぎておなかが苦しいとか、おなかが痛いとなれば、
これは食べることで失敗した身近な例だと言えるでしょう

私の神学校のクラスメートに牧師家庭から来ている女の子がいました
ある時、食事の時間に彼女の大好物が出まして、ついつい食べ過ぎてしまいました
その時、彼女がこうつぶやいたのを私は今でも忘れられません
「あかん、食べ過ぎてしまった。罪やなあ」と彼女が言ったのです

私はとっさに「えっ！食べすぎて罪なの？本当に？」と尋ねました。
彼女は牧師であるお父さんから厳しく育てられたそうで、
「食べ過ぎてはいけない、食べ過ぎは罪なんだぞ。むさぼりの罪だ」
と言われて育ったそうです。

食べることにおける失敗は時にいのちに関わることもあります
毒キノコによって引き起こされる中毒事故が毎年、起こっているそうです
厚生労働省や林野庁でも注意喚起を促しています
そして、中には毒キノコで命を落としたというケースもあるのだそうです

食べる事において罪を犯すことや命を落とすことなんて信じられない！
普通、私たちはそう考えます。でも命を失う食事というものが本当にあるのです

●アダムとエバの失敗

創世記

3:2 女は蛇に言った。「私たちは園の木の實を食べてもよいのです。

3:3 しかし、園の中央にある木の實については、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ』と神は仰せられました。」

3:4 すると、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。

3:5 それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」

3:6 そこで、女が見ると、その木は食べるのに良さそうで、目に慕わしく、またその木は賢くしてくれそうで好ましかった。それで、女はその實を取って食べ、ともにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

これはアダムとエバの失樂園の物語です

善悪の知識の木を食べることによって彼らは命を失いました。

食べる事自体が悪いものではありません。

問題は食べることに於いて神との約束を破ることにあったのです

アダムとエバは神様の言葉を聞いていました

でも同時に彼らは目の前にあらわれたへびの声を聞いてしまったのです

彼らはへびの声に心を奪われました。それと同時に神との約束が失われたのです

人は神と共に生きる者として創造されました

神なしには生きていく事ができない存在でした

しかし彼らはへびの声に聞き従ったために多くのものを失いました

神との関係を失い、樂園を失い、そしていのちを失うことになりました

ここでは食べる事において失ういのちがある、ということをもまず覚えたいと思います。

②食べる事で得る命がある

食べる事で失う命がある一方、得る命があると聖書は告げています。アダムとエバは

食べる事で肉体的にも霊的にもいのちを失うことになりました

しかし主イエスキリストが私たちに新しいいのちを与えてくださるのです

①食べることで失う命がある
②食べることで得る命がある

6:48 わたしはいのちのパンです。

6:49 あなたがたの先祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。

6:50 しかし、これは天から下って来たパンで、
それを食べると死ぬことはありません。

ここに2つの驚きと1つの事実があります。

2つの驚きとは、主イエスご自身がいのちのパンであると言われたこと、

そしてもう1つは主イエスが天からくだってきたと言われたことです

1つの事実とは、ユダヤ人の先祖が荒野でマナを食べたということです

ヨハネ 6:31 私たちの先祖は、荒野でマナを食べました。

『神は彼らに、食べ物として天からのパンを与えられた』と書いてあるとおりです。」

彼らの先祖は出エジプトにおいて父なる神によって天からのパンを与えられました
マナと呼ばれる天からのパンを食べて先祖たちは出エジプトの旅を成功させました
そのおかげで、今私たちはここにいるのだとユダヤ人たちは言いたいのです

しかし主イエスは彼らユダヤ人たちにもう1つの事実を突きつけます

それは彼らの先祖たちがマナを食べてなお、死んだということです

どこで死んだのでしょうか？出エジプト第一世代は旅の途中、荒野で死んだのです

なぜユダヤ人の先祖たちは荒野で死ななければならなかったのでしょうか？

それは、彼らは父なる神を心から信頼し、信じようとしなかったからです

先祖たちはマナを食べてなお荒野で死にました。

マナという神の奇跡によって与えられたパンを食べてなお死んでしまったのです

実は主イエスの前にいたユダヤ人たちも奇跡のパンをすでに食べていました

ヨハネ 6:13 そこで彼らが集めると、大麦のパン五つを食べて余ったパン切れで、十二
のかごがいっぱいになった。

6:14 人々はイエスがなさったしるしを見て、「まことにこの方こそ、世に来られるはずの
預言者だ」と言った。

ヨハネ 6 章の前半では、五千人の給食の奇跡を彼らはすでに体験していました
わずか 5 つのパンと 2 匹の魚で五千人以上の人々が満たされたのです
彼らはすでに奇跡のパンを食べていたのです

しかし、彼らの先祖が奇跡のパンを食べてなお死んだのと同様に
彼らユダヤ人たちも奇跡のパンを食べるだけでは足りませんでした
彼らに必要なことは、天からくだってきたいのちのパンを食べると言うことでした

6:51 わたしは、天から下って来た生けるパンです。
だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。
そして、わたしが与えるパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」

主イエスは 2 つの驚くべきことをここでも繰り返して言うのです
主イエスが天から下ってきたということ、そしてイエスご自身が
いのちのパンであるということをここでも繰り返し述べているのです

ユダヤ人たちがこの後見せる反応というのは実に人間的なものでした
目の前にいるイエスを食べる？ そんな非道な行いを誰がするのか？
人間の肉を食べるとするのは一体どういう意味なのか？

ユダヤ人たちの頭の中でクエスチョンマークがたくさん出て来ているのが見えます
彼らユダヤ人たちの反応は実に常識的であり、確かに理解できなくもありません
それでもなお主イエスはたたみかけるように言われるのです

6:53 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。
人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、
あなたがたのうちに、いのちはありません。」

肉を食べ、血を飲むと聞いてユダヤ人たちの反応はさらにエスカレートします
彼らは「ひどい、ひどい！ こんな話し聞いてられるか。」と怒り出します
そして、しまいには聞いてられるかと言わんばかりの態度で
大勢の人が主イエスの前から立ち去っていくのであります

しかし、私たちはここでもう一度立ち止まって考える必要があります
アダムとエバが失敗したのは木の実を食べたからではありません
彼らが失敗した決定的要因は神の声に聞き従わなかった事にあります
そして二人は神の前から離れ、樂園を立ち去ることになりました

主イエスのまわりに集まった群衆たちにも同じ事が言えるでしょう
彼らは奇跡のパンを食べました。驚くべき神のわざを目撃しました
しかし、彼らは神の声を聞いて、信じることをしませんでした
いや、目の前におられる主イエスが誰であるの理解していなかったのです

ヨハネ 6:28 **すると、彼らはイエスに言った。「神のわざを行うためには、何をすべきでしょうか。」**

6:29 **イエスは答えられた。「神が遣わした者をあなたがたが信じること、それが神のわざです。」**

ユダヤ人たちはどうやって主イエスの肉を食べ、血を飲むのかと考えました
しかし、彼らが本当に必要としていることは主イエスを信じることにありました
神のわざを行うために必要なこと、それは神の声を聴いて信じるという事なのです
そして神の言葉を信じる時にさらに驚くべき体験をする事になるのです

6:56 **わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしもその人のうちにとどまります。**

6:57 **生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。**

いのちのパンを食べるものに与えられる驚くべき体験がここに 있습니다
それは信じる者が主イエスにとどまり、主イエスもその人の内にとどまる事です
すなわち主イエスと信じる者との一体性がここで語られているのです

これは神学の用語で言えば「キリストとの結合」と呼ばれるものです
あるいは「キリストとひとつにされる」と表現する神学者もおります
しかし、いずれにしても主イエスの言葉にまさる言い回しはないでしょう
私たちは 57 節にあるように「キリストによって生きる」ということに他なりません

主イエスキリストによるいのちの営みは本当に驚くべきものです
キリストにつながり、キリストに結ばれて生きる道が与えられています
そして、この道には終わりがありません

6:58 これは天から下って来たパンです。先祖が食べて、なお死んだような
ものではありません。このパンを食べる者は永遠に生きます。」

いのちのパンを食べる者は、キリストによって生きていきます
その歩みは私たちが主イエスを信じた時から始まり、終わりがありません
これは本当に驚くべき約束です。私たちはこの約束を理解しようとする者でしょうか？
それとも、この約束を信じて生きる者なのでしょうか？

頭で理解すること以上に信じて生きる者となること
これが主イエスが私たちに願っておられることです

私たちは今日、聖餐の恵みにあずかろうとしています
主の晩餐、主の食卓とも呼ばれる恵みの場に私たちは招かれています
大切なことは食べることそのものにあるわけではありません
食べて信じることにあります

ユダヤ人の先祖は食べてなお荒野で死にました
それは彼らが神様を信じ、信頼しきっていなかったからでした
私たちが主の食卓、主の聖餐にあずかる時に同じ事が問われています

あなたがたは食べて主イエスとひとつになるのか？
あなたがたは食べて主イエスによって生きるのか？
そして、あなたがたは食べて主イエスを信じるのか？

食べて主イエスキリストを信じる者になりましょう
食べて主イエスキリストとひとつにされ、
主によって生きる者となっていましょう

一言お祈りさせていただきます

●祈り

神様、いま私たちはここに集まり、あなたを礼拝する特権に与っています
聖餐は信じる者に与えられたしるしであります
私たちがパンを食べる時に主とひとつにされている事を思い起こします
私たちがぶどう酒を飲む時に主によって生かされている事を覚えます

ユダヤ人の先祖たちはパンを食べてなお荒野で滅びました
それは彼らが主なる神の声に聞き従わなかったからです

しかし、いま私たちはパンを食べて命を得る者とされています
あなたを信じ、救われた者として、キリストによって生きようと
私たち一人一人にいのちが与えられました

人間は必ず死を迎える存在です。肉体の弱さや衰え、そして限界を持つ存在です
しかし、あなたは私たちをキリストと一つにし、キリストと共に生きるように
永遠のいのちを与えてくださいました

このいのちに生かされて、これからも私たちは生きていきます
あらゆる試みや試練にあってもなお、主と共に生きる者とさせてください

いのちのパンとなられた主、いのちの主、救いの主であられる
イエスキリストのお名前によってお祈りいたします アーメン

●全員祈禱(オルガン)

◆聖餐式

ヨハネの福音書

6:51 わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」

6:56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしも彼のうちにとどまります。

6:57 生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。

●祝祷

私たちのために、いのちパンとなってくださった主イエス・キリストの恵み

私たちを永遠のいのちのうちに生かしてくださる父なる神の愛

私たちを主とひとつにしてくださる聖霊なる神の導きが

今、神を礼拝する一人一人の上に

豊かに限りなくありますように。アーメン